

公的個人認証サービス(JPKI)に関するユースケース

K-MIX R BASICを活用した診療支援システム (かがわ医療情報ネットワーク協議会)

医療機関等で保険者が保有・管理する過去のレセプト情報（診療情報）を、医師等が速やかに把握し診療に役立てるためのシステムです。

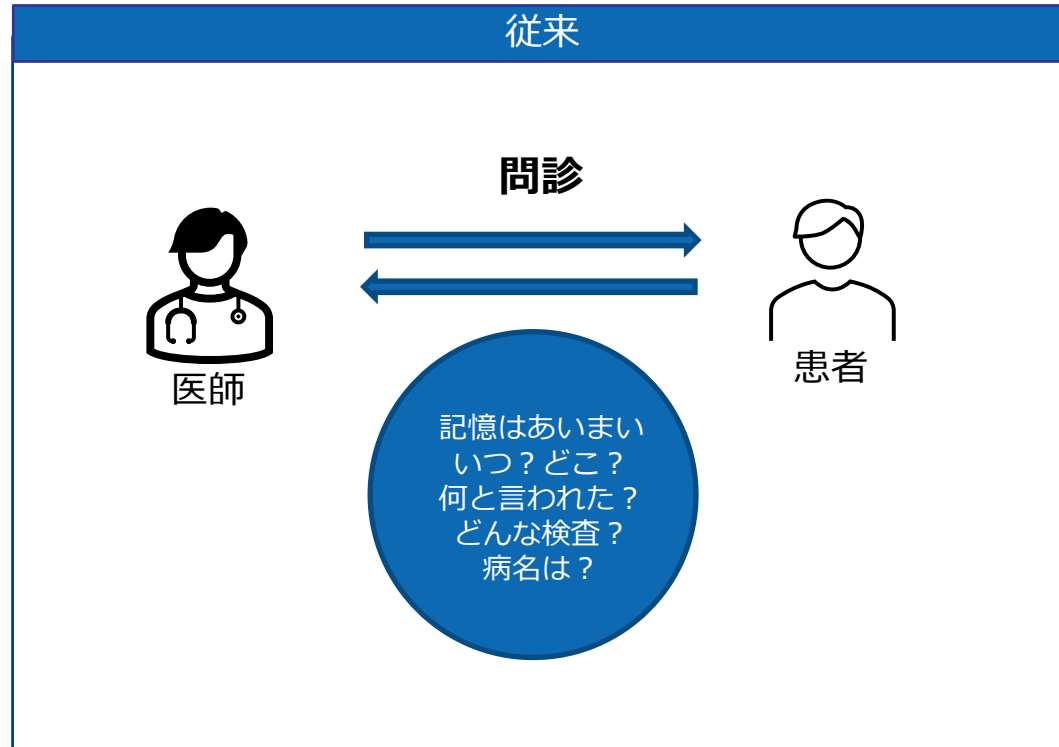
従来形式の課題

- 医師は、患者に問診を行い、過去に行われた診断状況を聞き出します。
- 問診は、患者の記憶が頼りになるため、忘失または、あいまいな記憶となるケースが多い。
- 過去の診断、投薬を正確に把握することが難しい。

サービス利用によるメリット・ポイント

- 過去の受診歴や投薬内容など患者の背景を「客観的」「具体的」に把握できる。
- マイナンバーカードの利用者証明用電子証明書を利用し、本人認証。
- 紐づけ情報を利用することで、証明書が更新されてもシームレスに利用可能。

従来



サービス導入後

